

令和2年度入学者対象入学式 学長式辞（令和3年4月4日）

新2年次生の皆さん、ご進級、おめでとうございます。昨年はコロナ禍の中で、入学式を行うことができませんでした。あらためまして、駿河台大学教職員一同、皆さんを心より歓迎申し上げます。

本学は、「愛情教育」を建学の精神として、昭和六十二年に創設されました。この愛情教育の精神は、教職員が「一人ひとりの学生をありのままにみつめ、一人ひとりの夢とその歩みを支援し、自立を促す教育」を行い、豊かな人間性を育てていくことを意味しています。

皆さんが本学の初年次生として過ごしてこられたこの1年間は、新型コロナウイルス感染症が拡大し、世界中がこの未知の脅威への対応をめぐって大きく揺れ動いた時期にあたります。先行きの見通せない状況の中であって、不安な気持ちで毎日を過ごされた人も多かったのではないのでしょうか。

将来の予測が難しい現代社会の中であって、大学に求められているのは、いつの時代にも通用する普遍的な能力を身に付けた人材の育成です。今後10年の間にも消滅する職業もあれば新しく登場する職業も出てくるでしょう。皆さんは、将来どのような仕事をするにしても役立つ基礎的な力を身に付けておく必要があります。すでにご承知の通り、本学では、そうした能力を「駿大社会人基礎力」と称して、教育活動全体を通じて育成することになっています。

ぜひ、本学の特色ある教育プログラムを積極的に活用して、自分をみがき、社会人として必要とされる基礎的な力を身につけてください。昨年は、コロナ禍の中で、例えば地域のさまざまな活動に参加して、実践的に社会を学ぶアウトキャンパス・スタディなどは思うように開講できませんでした。今年度は、十分な感染防止措置をとりながら、可能な限りこうした科目も再開し、社会を意識し、社会に目を向ける教育のいっそうの展開を図る予定です。

なお、大学での学びの内容、キャンパスライフ、将来の進路など、様々な悩みや不安を感じている人がいるかもしれません。何かあったらけっして一人で悩まずに本学の教職員、スタッフに遠慮なく相談してみてください。

駿河台大学教職員一同は、皆さん一人ひとりの夢と歩みを尊重し、その可能性を最大限に発揮できるよう支援し、教育を行います。皆さんが大学生活を存分に楽しみ、学生生活を通じて心豊かに成長されることを願って、一年遅れとはなってしまいましたが、お祝いの言葉と致します。

新しい年度の始まりです。皆様のご活躍を心より期待しています。

令和3年4月4日
駿河台大学学長 大森一宏